



新島村の未来につながる

議会と議員定数について、一緒に考えませんか？

令和5年2月に改選予定の新島村議会。
 前回の無投票を受け、議員定数の議論を活発に行ってきました。

1. 維持/削減と意見が分かれる
 各議員の主張と、
 議会の取り組みをご覧ください



QRコードを読み込むと、「議員と一緒に考える会」の全資料をご覧いただけます。報告は裏面をご覧ください。

維持

総務常任委員長

- ②綾とおる
多様な意見の聴取と集团的議論には一定数必要
- ③前田泉
偏り無い活動。議会活動を知っていただくために必須
- ④前田寿夫
2島3地区で地域の現状を理解各地区から議員が出やすく
- ⑥木村諭史
維持が合理的も、改善が前提
- ⑤青沼弘
2島3地区、幅広い年代の声を聴く
- ⑨青沼喜六
民意の反映、今回の削減は改革とマッチしない

削減

議長

- ⑩前田邦弘
村民からの負託で削減、報酬も議論
- ⑦前田卓秀
経験上8人でいける今ならオンライン活用も
- ⑧山本均
選挙で戦って入れ替わる。選挙があって当然
- ①小久保利佳
前回無投票、議員が多いという声

2. 土台となった これまでの議事録もご覧ください



論点1: 他と比べて多いか少ないか?
多いだが、報酬が高くないわけではない。一度減らして、再度投票がある。⇒とりあえず次の議点へ

論点2: 選挙か、無投票か?
①選挙を逃して改選してはもう1より大きい⇒選挙
 ②無投票なら定数は維持する。③改選を逃して改選してはもう1より大きい⇒選挙
 ④改選を逃して改選してはもう1より大きい⇒選挙
 ⑤改選を逃して改選してはもう1より大きい⇒選挙

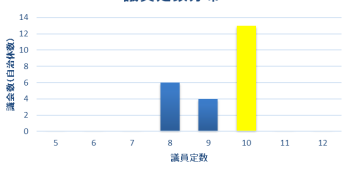
論点3: 報酬と仕事量のバランス
①仕事量に比べて報酬は必要
 ②仕事量に比べて報酬は必要
 ③仕事量に比べて報酬は必要
 ④仕事量に比べて報酬は必要

論点4: “家”としての重み (本業/兼業)
①本業/兼業
 ②本業/兼業
 ③本業/兼業
 ④本業/兼業

論点5: “議会”としての仕事量・必要性
①必要性
 ②必要性
 ③必要性
 ④必要性

- 論点を整理しつつ議論
- データを解析して検証
- 各議員の考えを事前にまとめてから討論

R3人口2500~2750人の自治体の議員定数分布



- 外部資料の論点も参考にしました
- 全国町村議会議長会発行
 議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き～P56 議員報酬を考える8つの視点～を抜粋
- ①定数・報酬は議会がポリシーを示す
- ②報酬や定数の根拠をそれぞれを説明する
- ③削減=改革ではなく、住民自治の創出が出发点
- ④多くの人が将来立候補し活動しやすい条件
- ⑤削減の場合は住民による政策提言・監視
- ⑥住民と考える議員報酬・定数
- ⑦特別職報酬等審議会の有効活用
- ⑧周知する十分な期間

3. みなさまの考えをお聞かせ下さい！

アンケート受付中

右のQRコードよりアンケートフォームに記入していただけます。

募集〆切：8月22日 10時



議員と一緒に考える会 オンライン (ZOOM) 開催

右のQRコードよりお申し込みください。(事前予約)
 1回目：8月3日 (水) 20:00-
 2回目：8月20日 (土) 20:00-
 (どちらも同じ内容です)



4. 最終的な採決は8月末の総務常任委員会で予定しております。
 本会議場での議員間討論をぜひ傍聴やインターネットでご視聴ください！

6月に続いて行われた「議員と一緒に考える会」第2弾は、議会改革のご報告&議員定数を考える!の2本立てとなりました。

新島・式根島3会場で15名、10代から70代まで、幅広い年代の方にご参加いただきました。各会場でも時間一杯まで対話することができました。誠にありがとうございます。

※(会場名+発言者イニシャル(名姓) 本:本村会場、若:若郷会場、式:式根島会場)



議会改革の手応えは?

- 議会の広報、ペーパーレス化、素晴らしいと思った。ずいぶん変わってきている。(本:HIさん)
- ICT機器が使えないと議員になれないということはないか?(式:HYさん)
←音声入力など便利な機能もある。習熟度は、折衷案を目安にしている。議会全体としても強制ではなく勉強会など努力して取り組んでいる。(議員)
- 一問一答方式:聞いている方が迷子になりづらい。(本:TNさん) 国会みたいで良いと思った。(本:SMさん) 細かく聞けて良い。(本:TKさん)

定数は削減が維持か?

- 削減したほうがいいという話は聞かない。選挙活動以外の議員の活動が見えない。(式:TFさん)
- 議員が何をやっているかよく分からない。プロとしての立場なのか、何人がかりでどれだけ動くか?。(式:HYさん)
- 判断基準が分からない。なぜ削減か?それで業務が回るのか?人口減は説得力はない。(本:HIさん)
- 話しを聞いて定数削減・維持、どちらも判断できない。無投票が衝撃的。村議選は絶対にやって欲しい。(式:HMさん)
- 二択で話す内容ではないと思った。意見するにはそれなりに議員の仕事が分かってないと。一緒に勉強を!(本:TNさん)
- 30年前から選挙結果を集めている。やはり選挙になって欲しいかった。議員は定例会以外にも集まって!(若:HTさん)
- 無投票でも得票率で信を問う方法があっても?(本:TKさん)

議員のなり手を増やすには?

- 熱度があるほど際限が無い。その報酬ではおすすめしづらい。人材不足で従業員を確保して出馬する選択肢がとれない。話す場を作り、人の間に入り、住民全体に興味をもってもらうように。(式:TFさん)
- 高校生のときに興味がなかったが、立候補者の選挙演説を聴いて関心をもてた。(本:SMさん) 街頭演説が終わるまで聞くよう、子に伝え、家族でも話している。ぜひ選挙になるように!(本:YMさん)
- 昔から家に集まって話をしていたが、当時は地域政治が賑わっていた。親戚が多いところが受かるのは嫌い。(若:HTさん)
- 仕事が見えない(大変さ、業務内容、拘束日程?)ので、若い人たちは立候補しづらい。こういうことができますよ!という見える化も!(本:HYさん) 議員になったら、どう生きがいになるのか。それが見えれば、若い人にもやってみようと思える。(本:HIさん) 憧れの職業ではなくなっている⇒衰退期の中で難しいが楽しく仕事をしている“姿”を見せて欲しい。新しい課題解決(デジタル活用)も!(本:TNさん)

総務常任委員会での審議および
議員と一緒に考える会は続きます。
ぜひ裏面をご覧ください!

当日のスライドや、
オンライン開催の
紹介は裏面へ